

## 基調講演「安全・安心のための想像力」

東京工業大学大学院理工学研究科建築学専攻 教授 青木 義次

危険なことは普段は「見えない」出来事である。しかし、地震や火災のように災害が起こってからでは遅く、事前に危険性を把握し、被害軽減対策をこうじる必要がある。そこで、見えていない危険を想像する能力、つまり安全・安心のための想像力が建築技術に求められる。

建築のさまざまな分野で建築・都市の安全性が研究が進められており、それらは危険性の科学的な把握が基本であった。建築研究所は設立以来この分野の研究リーダーシップを担ってきており、今後の期待も大きい。しかし、従来の研究実績に安住することはできない。建築材料や生活形式の変化が新たな災害パターンを生み、各研究分野をまたぐような災害もある。分野の壁を越えた総合的な安全・安心のための想像力が期待されている。



### PROFILE

1946年東京生まれ。1972年東京工業大学理工学研究科大学院修了。1979年学位取得 工学博士(東京工業大学)。建設省建築研究所を経て、現在、東京工業大学大学院理工学研究科建築学専攻教授。専門分野に、建築計画、都市計画。  
主な著書・発表論文(代表)に、「地域施設整備過程の最適経路の性質」(日本建築学会計画系論文集 [558]183-186(2002))「防災計画についてのエキスパートジャッジのモデル化」(日本建築学会計画系論文集 [546]149-154(2001))「計画行為の妥当性に関する論証」(日本建築学会計画系論文集 [527]143-148(2000))「やさしい火災安全計画」(学芸出版社)「入れ子空間構造とスキーマグラマーから誘導される代数方程式」(日本建築学会計画系論文集[512]159-166(1998))「DECISION SUPPORT SYSTEMS IN URBAN PLANNING」(E&FN SPON)「建築安全論」(彰国社)。  
受賞歴に、1991年度日本建築学会賞(論)。